

新 知 古 本

論語にある「温故知新」をもとにして図書館といえば「本」、五所川原市立図書館といえば「古」くからの郷土資料が多く揃っているという当館らしいタイトルを考えました。読み方は「ほんっこしん」と津軽弁で読んでください。

※「ん」は津軽弁独特の「ち」と「つ」の中間の発音です。



【表紙第6号】
エンゼルひろばに来ていたみはるちゃんとお母さん。みはるちゃんは、絵本が大好き！大きくなったら図書館にも借りに来てね♪

できま



今回は、社会教育課の江戸さんから五所川原市古写真収集事業についてお話を聞きました！

教えて市職員！
part6



江：五所川原市教育委員会では、五所川原市を撮影した近代から現代の写真に残る、撮影当時の人々の暮らしぶりや街の様子などを大切に記録・保存し、後世に伝えていくことを目的に、五所川原市を撮影した明治から平成の写真を集めています。

江：写真といっても様々な種類があると思いますが、どのような写真を集めているのでしょうか？

江：写真は、街並み・祭り・農作業・季節の行事など種類は問いません。また、お正月・運動会などの家族写真であっても、当時の暮らしぶりが分かるものであれば対象となります。古写真というと、明治・大正時代の白黒写真やとも昔の写真やイメージしてしまうかもしれませんが、近年でも、五所川原市はいろいろな変化しておりますので、街の移り変わりや当時の様子や、人物の写真でも構いません。頂いた写真は、こちらでデータ保存をしたのち、ご返却いたします。この機会に、「家族の思い出とともに、市の歴史を振り返ってみてはいかがでしょう？」

江：それは面白そうですね。収集した写真はその後、どのように活用するのでしょうか？



江：集まった写真は、五所川原市のホームページで公開するほか、市の刊行物や古い写真と現在の写真を見比べて街の変化をわかりやすく展示する「古写真展」などに使用させていただくことがあります。また人物写真については、ご本人またはご家族のご了承を得てからお申込みください。

江：豊富な写真で五所川原市の様子を知ることができる資料は、『写真アルバム五所川原・つがる・西北津軽の昭和』（いき出版2018年）、『保存版五所川原・つがる・西北津軽今昔写真帖』（郷土出版社2009年）、『目で見る五所川原・津軽の100年』（森山嘉蔵監修、岩崎繁芳編、郷土出版社）、『写真集明治・大正・昭和五所川原』（神野高行編、国書刊行会1981年）、『ふるさとのあゆみ 五所川原』（山上笙介編、津軽書房1981年）などがあり、図書館で借りることができます。

江：図書館にある資料のように、五所川原市や西北五地域の写真を集めた書籍がありますが、明治・大正・昭和初期から中期の写真が中心となっています。もちろんその時代の写真も集めておりますが、昭和の終わりから平成初期にかけての写真が少ないので、ぜひ皆さんからのご応募を待ちしております。



江：募集要項および申込用紙は、五所川原市ホームページから閲覧またはダウンロード可能です。また、五所川原市役所三階社会教育課文化係でも配布しております。

江：五所川原市の移り変わりを写真で比べることが出来る「古写真展」の開催を楽しみにしています！



江：五所川原市の移り変わりを写真で比べることが出来る「古写真展」の開催を楽しみにしています！

江：ありがとうございます。



発行 五所川原市立図書館

〒037-0046 五所川原市字栄町119

TEL:0173-34-4334

FAX:0173-34-3256

E-mail: tosyokan@city.goshogawara.lg.jp

